

■ 会員へのサービス

1 委員会へのご参加

本会では、本会の事業を推進する機関として、分野ごとに5つの委員会を設置しており、会員の皆様は、ご希望の委員会に所属、ご参加いただけます。委員会では、各種課題等に関する講演会や視察、ワーキングなどを通じて、調査研究を行い、会員の皆様のご意見やご希望を基に、施策の立案、政府・関係機関に対する意見や要望の取りまとめなどを行い、事業の推進に取り組めます。

2 地域委員会へのご参加

本会では、九州・山口各県に9つの地域委員会を設置しています。各地域の諸課題を調査研究し、九経連全体の活動に反映させることでその実現を図ることを目的としています。各地域の会員の皆様は、この地域委員会にご参加いただけます。(なお、沖縄地域については、地域委員会に代わるものとして、沖縄連携フォーラムを毎年開催しています。)

3 他の経済団体との交流

本会では、経団連の会長、副会長との懇談会(九州経済懇談会)、沖縄の経済団体との懇談会(沖縄連携フォーラム)、西日本地域の6つの経済連合会との協議会(西日本経済協議会)等を開催しております。会員の皆様は、これらにご参加いただけます。

4 情報発信

本会の会合のご案内・活動報告については、ホームページに掲載いたします。メールサービスにご登録いただくことにより、ホームページの最新記事についてお知らせします。その他、本会にて取りまとめた提言や各種関連資料などをお届けいたします。また年4回「九経連四季報」を発行し、本会の取り組みについて詳しくご紹介いたします。

5 その他

企業経営や地域の活性化に関するご意見やご要望に対応いたします。また、海外進出や輸出についてのご相談にも応じます。本会の活動へのご参加を通じて、多くの会員企業の皆様とのネットワーク、企業連携をつくることもできます。

■ 入会方法

—入会手続きと会費について—

九州・山口・沖縄地域の均衡ある発展という本会の活動趣旨にご賛同いただける法人及び団体であれば、規模・業種は問いません。

① 入会手続き

本会総務国際部にご連絡ください。こちらよりご説明にお伺いいたします。その後、入会申込書(本会所定様式)をご提出いただけます。

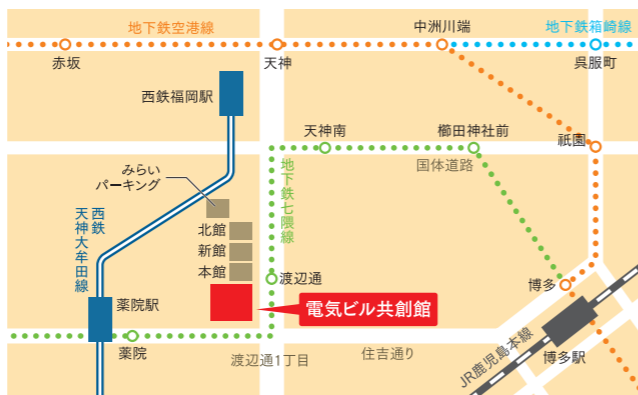
② 入会金

5万円

③ 年会費

1口15万円

※会費期間は4月から翌年の3月までの1年間で、初年度は入会月から3月までの会費を月割りでご請求いたします。



お問い合わせ先

一般社団法人 九州経済連合会 総務国際部

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号電気ビル共創館6階

TEL (092) 761-4261・FAX (092) 724-2102

URL <https://www.kyukeiren.or.jp>

E-mail info@kyukeiren.or.jp

2025年6月改訂

Kyushu Economic Federation

九経連 入会のご案内

■ ごあいさつ



池辺和弘

九州経済連合会 会長
(九州電力株式会社 会長)

九経連は1961(昭和36)年、石炭から石油へのエネルギー転換や急速な経済成長によって、多くの地域課題が山積する中で、個別企業の枠を超えて、九州を発展させなければならないという強い危機感から、経団連、関西、中部に次いで全国で4番目の総合経済団体として設立されました。それ以来、地域経済の発展に向けて、九州自動車道や九州新幹線などの交通基盤整備、自動車や半導体関連産業の集積強化、九州一体となって観光を振興する「九州観光機構」の設立などに取り組んできました。現在、未曾有のコロナ禍を経て、DXの急速な進展やGXへの対応など取り巻く環境は大きく変化し、規制や枠組みの見直しを迫られる一方、インバウンドの急増や半導体を中心とする投資拡大などにより、九州経済は新たな局面を迎えています。

私は、倉富会長の後を受けて、2025年6月に、第10代九経連会長を拝命いたしました。歴代会長の意思を引き継いで、「九州を明るく、元気にしたい」という地域への強い想いのもと「九州から日本を動かす」という使命を実現するために、目の前の課題解決に向けて精一杯尽力してまいります。

九経連では、創立60周年を機に策定した「九州将来ビジョン2030」を活動指針に、「幸せコミュニティ」の実現を目指してさまざまな事業に取り組んでいます。

今年度は、第2期中期事業計画(2024~2026)の中間年にあたります。これまで将来への基盤づくりのために、諸先輩に蒔いていただいた種が着実に芽吹きつつあります。

中でも、「新生シリコンアイランド九州」の実現は、九州の新たな成長エンジンとなり、九州経済の発展を促進するとともに、日本全体の経済成長および経済安全保障にとっても極めて重要な課題だと考えています。また、気候変動や不安定な世界情勢に加え、少子高齢化による人口減少や担い手不足の問題もあり、食料安全保障の強化も重要な課題となっています。

当地域の強みでもある農林水産業のさらなる活性化に向けて取り組む一方、頻発する大規模災害への対応についても、GXの推進等を通じて積極的に取り組んでいく必要があります。

さらに、九州の持つ、温暖な気候、豊富な観光資源、クリーンで安価なエネルギーといった優位性を活かしながら、投資促進や交流人口の拡大を図るとともに、DXによる生産性向上を所得向上につなげ、景気の好循環を実現していかなければなりません。

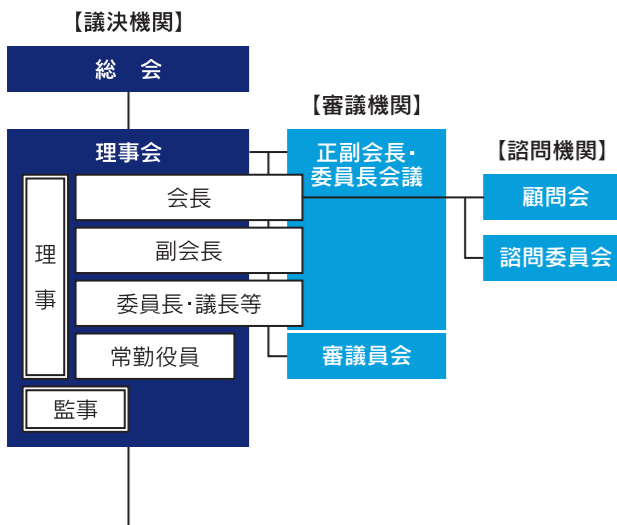
こうした魅力ある地域の実現のために、第3回目となる国際サイクルロードレース「マイナビツール・ド・九州2025」や、「九州MaaS」の充実強化についてもしっかりと進めてまいります。

九州の“まとまりの良さ”をフルに活かして、産官学一体となって地域力を結集し、一つでも多くの好事例を九州から全国に示してまいります。

九経連の活動にご支援、ご協力を賜りますよう、ご入会を心よりお待ちしております。

一般社団法人
九州経済連合会

■ 九経連運営組織図



【事業推進機関】

- 委員会**
- 資源エネルギー・環境委員会
 - 産業振興・デジタル推進委員会
 - 地域共創委員会
 - 交通委員会
 - 関門連携委員会
 - 北九州地域委員会
 - 筑後地域委員会
 - 佐賀地域委員会
 - 長崎地域委員会
 - 熊本地域委員会
 - 大分地域委員会
 - 宮崎地域委員会
 - 鹿児島地域委員会
 - 山口地域委員会

九州から日本を動かす Move JAPAN forward from 九州！



九州将来ビジョン2030

●共生と共感によって、成長と心の豊かさが好影響を与え合い、新たな価値を共創する持続可能な地域を目指します。

ありがたい姿

- I 新たな時代の成長エンジン**
~「九州から日本を動かす」気概と情熱で地域経済社会の先進モデルを確立~
- II 心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ**
~多様な人材を活かし、新たな価値創出を促す~
- III 自立型広域連携アイランド**
~九州のポテンシャルを活かし、強固な連携で成長と心の豊かさを支える~

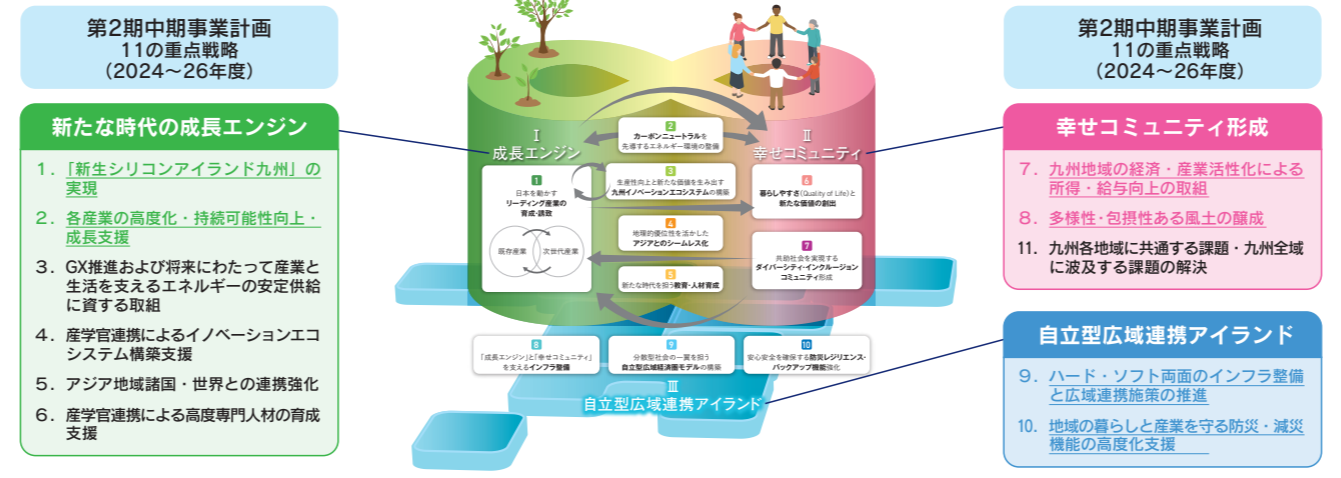
実現に向けた10の課題

- 日本を動かすリーディング産業の育成・誘致
- カーボンニュートラルを先導するエネルギー環境の整備
- 生産性向上と新たな価値を生み出す九州イノベーションエコシステムの構築
- 地理的優位性を活かしたアジアとのシームレス化
- 新たな時代を担う教育・人材育成
- 暮らしやすさ(Quality of Life)と新たな価値の創出
- 共助社会を実現するダイバーシティ・インクルージョンコミュニティ形成
- 「成長エンジン」と「幸せコミュニティ」を支えるインフラ整備
- 分散型社会の一翼を担う自立型広域経済圏モデルの構築
- 分散型社会の一翼を担う自立型広域経済圏モデルの構築
- 安心安全を確保する防災レジリエンス・バックアップ機能強化

<2025年度方針>

2025年度は、新生シリコンアイランド九州の実現に向けた取組を強化するとともに、農林水産業の振興と輸出拡大など九州の強みを活かしながら九州の成長エンジンを伸ばしていく。また、地方創生2.0の追い風をとらえ、若者・女性に選ばれる地域づくりを推進するとともに、九州全域の質上げ機運の醸成を図り、成長と分配の好循環を実現していく。更に、九州の産学官のまとまりの良さを活かし、九州MaaSやデジタルを活用した災害対策の高度化などハード・ソフト両面からインフラ整備を推進し、自立型広域連携アイランドを目指していく。

九州将来ビジョン2030 実現に向けて取り組むべき10の課題とその関係図



■ 九経連の主な活動成果

1 インフラ整備

■九州新幹線・西九州新幹線早期開業

1988年	九州新幹線建設推進研究会発足
1991年	九州新幹線新八代～鹿児島中央間着工、2004年同区間開業
2011年	九州新幹線博多～新八代間開業
2022年	西九州新幹線長崎～武雄温泉間開業

■高速道路の整備

1988年	九州縦貫自動車道完成
1996年	九州横断自動車道完成
2016年	東九州自動車道(北九州～宮崎)開通

2 「九州はひとつ」へ向けた取り組み

■九州一体となった国際化戦略／■官民一体となった九州の発展戦略

2001年	九州経済国際化推進機構設立
2003年	九州地域戦略会議設立
2005年	九州観光推進機構設立
2008年	九州地域戦略会議「道州制九州モデル」発表
2011年	「低炭素社会を目指す九州モデル」策定
2014年	「九州・沖縄地方成長産業戦略(Earth戦略)」策定
2015年	「再生可能エネルギーの産業化を目指すアクションプラン」策定
2015年	「九州創生アクションプラン(JEWELSプラン)」策定
2019年	「九州国際医療機構」設立
2020年	「第2期九州創生アクションプラン(JEWELS+)」策定
2020年	「九州プロモーションセンターinハノイ」開設
2022年	「九州・沖縄・山口ESG投融資方針」策定
2023年	「マイナビ ツール・ド・九州2023」開催
2024年	九州MaaS協議会設立
2024年	「新生シリコンアイランド九州グランドデザイン」策定
2024年	「マイナビ ツール・ド・九州2024」開催

3 産業振興

■自動車・二輪車メーカーの集積

1967年	「九州地域における自動車工場立地の可能性」発表
1975年	日産自動車(株)九州工場(現:日産自動車九州(株))操業
1976年	本田技研工業(株)熊本製作所操業
1992年	トヨタ自動車九州(株)宮田工場操業
2004年	ダイハツ九州(株)大分(中津)工場操業

■農林水産業振興

2013年	「九州地域の森林・林業・木材産業アクションプラン」策定
2015年	「水産業アクションプラン」策定
2015年	九州農水産物直販(株)設立
2020年	「九州の食輸出協議会」設立

4 学術・文化の振興、産学連携

■九州国立博物館の設置

1992年	九州国立博物館設置促進財団設立
2005年	九州国立博物館開館

■九州大学学術研究都市構想の策定及び実現

2001年	「九州大学学術研究都市構想」策定
2004年	(財)九州大学学術研究都市推進機構設立

■産学連携

2010年	産学連携懇談会設置
-------	-----------